

1 単元名 小倉小学校創立60周年お祝い献立を提案しよう

2 単元の目標

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 (知識及び技能(2)ア)
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
(思考力・判断力・表現力等B(1)ウ)
- 文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。
(知識及び技能(1)カ)
- 積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書くことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 提案する献立の根拠と、それを支えるための情報との関係について理解している。〈(2)ア〉 ② 提案内容と根拠、それを支えるための情報との接続の関係、提案文の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。〈(1)カ〉	① 『小倉小創立60周年のお祝いをする献立を提案し実現してもらおう』という目的のために、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、献立を提案する根拠を支えるための情報と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 〈B(1)ウ〉	① 積極的に提案文の構成や展開を考え、作成したルーブリックと照らし合わせながら、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。

4 単元について

(1) 問題の所在

本学級の児童は、学級での話し合いの際に、自分の考えをもって発言することのできる児童が多い。児童自身で学級の中での些細なルールや学級レクなどを提案することもある。しかし、その理由が「その方が困らないと思ったから」「楽しいから」など、自身の主観のみになっていることがほとんどである。意見を書かせても同様に、自身の主観のみの記述になっていて、裏付けられる根拠となる事例や理由がないことが多い。そのため、相手意識が乏しく、言語活動を通して共感や説得を行おうとする様子が見られない。

そこで、本単元では「小倉小学校創立60周年記念献立を提案しよう」ということで、栄養教諭に対して小倉小学校創立60周年記念献立を提案する文章を書く活動を設定した。この活動を通して、相手に納得してもらえるような提案文を書こうという意識が芽生えることで、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する〈B(1)ウ〉」力が身に付けられると考えた。

(2) 教材と言語活動

本単元では「構成を考えて提案する文章を書こう デジタル機器と私」を活用することで、相手に分かりやすく伝わるように、伝えたいことや知らせたいことを明確にし、首尾一貫した展開となるような提案文を組み立てる力につなげられると考えた。また、栄養教諭に向けて提案する文章を書くことで、より明確に相手や目的を意識して提案文を書く活動に取り組めると考えた。

5 指導計画 (全 10 時間)

次	時	学習活動	指導や支援の手立て	評価規準・評価方法
第一 次	1	○小倉小学校創立60周年記念献立を提案するための文章を書くという学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。	○目的と相手を意識して学習を進められるように、実際に給食として実現できるような献立を考え、栄養教諭の先生に提案することを伝える。 ○既習事項分をもとに、書くために必要なことを確認し、学習の進め方の見通しをもてるようにする。	
第二 次	2	○提案する献立について、グループで考える。	○60周年記念献立にふさわしいメニューを考えられるように、目的を確認する。	【知識・技能】 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に文章全体の構成や展開を考え、提案する文章を書こうとしている。
	課外	○献立を提案するために必要な情報を集め、献立を考える。		
	3	○提案文の特徴や構成を確かめる。	○提案文の基本的な特徴を理解するために、教科書の提案文を分析する。	
	4	○説得力のある提案文を書くためのルーブリックを作成する。	○説得力のある提案文になるために必要な事柄を明確に理解できるように、バッドモデルを提示する。	
	5 ・ 6	○構成メモを作成する。 ○提案する文章を書く。 ⇒栄養教諭に提出する。	○考えと理由や事例のつながりを意識して文章全体の筋道が整えられるように、クラゲチャートを活用し、構成メモを作成する。 ○説得力のある提案文にするために、ルーブリックを確認する。	
7 ・ 8	○栄養教諭から返却された提案文を見直し、書き直す。	○栄養教諭からのコメントをもとに、より説得力のある提案文を書くために必要なことを確認する。 ○必要に応じて、さらに資料を		

			収集する。	
	9	○下書きを読み合い、内容や書き方をよりよくするために推敲する。 ○提案する文章を清書する。 ⇒栄養教諭に再提出する。	○文章全体として内容が捉えやすいか、説得力があるか、という一読み手としての視点で互いに意見を出し合わせる。	
第三次	10	○栄養教諭から返却された提案を読み合い、感想を交流してよさを共有する。 ○学習を振り返る。	○作成したループリックの項目に着目して感想を交流させる。 ○観点を明確にして振り返りを書くようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に文章全体の構成や展開を考え、提案する文章を書くようしている。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。【思考・判断・表現】

(2) 展開（7/10）

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◇評価
	1 前時までの学習を振り返る。 ○記念献立を考えて、提案文を提出した。	○学習計画や前時の振り返りを確認し、本時の学習の見通しをもてるようにする。
	2 提出した提案が通らなかったことを伝え、本時のめあてを確認する。	
	提案内容がより伝わるように文章を見直そう。	
	3 グループで改善点について確認し合い、提案文を見直す。 ・グループでさらに必要な情報があれば収集する。 ○『栄養がたくさんある』だけではこの食材を使う根拠が足りなかったから、この食材の栄養を採るとどんな良いことがあるのかも調べて付けたそう。 ○からあげはみんな好きだから、ではしっかりとした根拠にはならないから、具体的な数字がわかるようにアンケートを作成しよう。	○説得力のある提案文を書くためのループリックを確認する。 ○見直すときの視点となるように、栄養教諭から伝わったことと、伝わらなかったこと、提案が通らなかった理由をコメントしてもらおう。 ○学級内で必要に応じて交流してよい環境を整える。 ○必要な情報が収集できるように、資料を用意したり、栄養教諭へ質問できるような環境を整えたりする。 ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【思考・判断・表現】

	5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○学習計画を確認し、次回までに下書きが完成できるようにすることを伝える。
--	-------------------------	--------------------------------------